

PTA 祝辞

卒業生の皆さま、本日はご卒業、誠におめでとうございます。
そして保護者の皆さま、今日までお子さまを大切に育ててこられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

幼稚部の皆さん、
はじめてこの学校に来た日のことを覚えていますか。
小さな手で、先生やお友達と手をつなぎ、手話で「おはよう」と伝えたあの日から、みなさんはたくさんの「わかった!」「伝わった!」を重ねてきました。

運動会で一生懸命走ったこと。
お友達と遊んだこと。
先生と手話で歌った時間。

ここで過ごした毎日は、みなさんの心の中に、きらきらと輝き続けます。

4月からは一年生。
新しい世界でも、どうか自分のことばで、自分の手で、たくさんの「伝えたい」を大切にしてください。ずっと応援しています。

保護者の皆さま。
戸惑いや不安の中で始まった学校生活だったかもしれませんが、けれど今日、お子さまはこんなにも堂々と成長されました。どうかこれからも、手話や指文字、そしてまなざしを通して、「わかる」「通じ合う」時間をたくさん重ねてください。その積み重ねこそが、お子さまの生きる力になります。

小学部の皆さん、6年間よく頑張りましたね。
楽しかった思い出も、少し苦しかった思い出も、すべてが今日の卒業につながっています。

同じ時間を過ごしても、感じ方は一人ひとり違います。聞こえ方も、伝え方も、それぞれ違います。「違いは間違いではない」だからこそ、ここではお互いを見つめ、自分の気持ちを大切にし相手の心を感じ取ろうとしてきました。それは尊い力です。
どうか、自分の感じ方を大切にしてください。
そして今日まで歩んできた自分を、誇りに思ってください。

これからは、自分で考え、自分で選び、自分で歩いていく時間が少しずつ増えていきます。
迷うことがあっても大丈夫。
皆さんには、この学校で育んだ力と仲間との思い出があります。
自分らしく、一歩ずつ進んでください。

中学部の皆さん、義務教育修了おめでとうございます。

皆さんがこの中学部に入学してから3年。最初は少し大きかった制服がよく馴染み、心も体もひと回りふた回りも大きく成長しました。皆さんはこの学校で仲間と出会い、手話で語り合い、ときにぶつかりながらも、心を通わせてきましたね。

この学校で皆さんが身につけたものは、教科書の知識だけではありません。部活動や生徒会や行事などを通じて自分の思いを、自分の方法で伝える勇気。相手の思いを、最後まで受け止めようとする姿勢。そして、違いを尊重し合う心。
それは、社会に出たとき、きっと誰かの光になります。

卒業証書は、努力の証であり、

「自分の人生を自分で歩き始める」という証でもあります。これからの道は、自分自身で選び、切り拓いていくものです。ときにまよい、ときには立ち止まることもあるでしょう。しかし、その一步一步こそが自分の人生のかたちであり、「自分は何を大切に生きていきたいのか」という問いを忘れないでほしいです。答えはすぐに見つからなくても構いません。日々の中で感じ、考え、挑戦を重ねることで、少しずつ未来が見えてくるはずです。失敗を恐れずに進む勇気を持ってください。挑戦の数だけ、成長があり、そこからしか得られない喜びがあります。人生は、まさに挑戦と成長の積み重ねの先に広がる、限りのない学びの旅なのです。どうか自分を信じてください。皆さんの輝かしい未来に、心から応援しています。

保護者の皆さま。

今日までお子さまのそばに立ち、温かく支え続けてこられた日々に、心から敬意を表します。また、PTA 活動にもご理解とご協力頂き、ありがとうございました。皆さまの温かい支えがあったからこそ、子どもたちはより充実した学校生活を送ることができました。PTA 活動を通して、保護者の皆さま同士交流できましたことを心より感謝申し上げます。

ご来賓の皆さま、お忙しい中ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。これまで陰ながら生徒の皆さまのご成長を見守っていただきまして、感謝申し上げます。新たなスタートを切る子どもたちをこれからもどうか見守ってくださいますよう、お願いいたします。

そして校長先生をはじめ教職員の皆さまには、今日まで子どもたち一人ひとりに寄り添い、温かく導いてくださいましたこと、保護者を代表して深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さまの未来が、笑顔と希望と誇りに満ちたものでありますことを心より願っております。

私たち PTA 一同、皆さまのこれからのご活躍を心から応援しております。

本日は誠におめでとうございます。

令和8年3月13日

大阪府立中央聴覚支援学校

PTA 会長 兼田浩美